

令和5年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和5年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和6年3月19日 午後1時30分から午後3時12分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	初谷委員、田守委員、古川委員、唐澤委員、宮尾委員、黒澤委員、杉本委員、望月委員、西村委員、鈴木(健)委員
5	市側出席者	三澤文化課長、冨田三郷図書館長、太田堀金図書館長、青木明科図書館長、奈良澤課長補佐、中島主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人
8	会議概要作成年月日	令和6年3月26日

○会議の概要

- 1 開会 (奈良澤課長補佐)
- 2 あいさつ (望月会長、三澤文化課長)
- 3 協議事項 (議長：望月会長)
 - (1) 令和5年度 安曇野市図書館事業報告について 資料1
 - (2) 令和6年度 安曇野市図書館事業計画(案)について 資料2 資料3
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会 (奈良澤課長補佐)

3の協議事項概要

議 長 1「令和5年度 安曇野市図書館事業報告」の事前質問の回答を事務局よりお願いしたい。

事務局より資料1、追加資料4により説明。

議 長 夏休み調べ学習支援講座について、学校関係の委員からご意見を頂きたい。

委 員 講座へは保護者同伴を前提とする等ではなく、子どもの状況に応じた対応でいいと感じた。

委 員 夏休みは自由に学習することを子どもたちに勧めている。自由研究があるが、昔で云う一人一研究ですが、それをやりたい子どもに支援が広がればいいと思う。

事務局 現場の先生の意見は参考になります。何をやったらいいかわからない子どもの支援が大事だと思っている。今後も間口を広げた支援を行っていったらいいと思っている。

議 長 事前質問の無かった委員に発言をお願いしたい。

委員 事業には参加目標の人数があるが、計画段階で目標値のようなものを考えて行っているのか。

事務局 事業が途中のため目標定員と参加人数の記載はないが、報告にも記載できるようにしていきたい。目標数値は考えて行っています。

委員 お出かけ図書館を三郷館や豊科館では行わなかったのか。夏休み調べ学習支援講座、学校や先生と図書館はどの程度コラボして実施しているのか。

事務局 お出かけ図書館は他の機関の主催事業に合わせて実施しており、各機関の地域の図書館に限らず中央図書館が出かけている場合もある。

夏休み調べ学習支援講座は定員の関係もあり学校等へ大きく周知徹底は行っていない。

先生との関わり方については、教員0Bへも相談し学校の立場も考えて行っている。

議長 学校では支援学習をどのように感じているのかご意見をお願いします。

委員 子ども達の学習の選択肢の中に科学展があり、その学習に講座を活用できる。支援学習の情報は理科の先生が校内でつないでいる。学校以上に専門的に情報をもっている方々から支援して貰えるのは学校としても有難いし奨励していきたい。

委員 子ども達の興味への支援の拡大に繋がっている。子ども達へ多くの経験をさせてあげられると学校としても有難い。

議長 「令和6年度安曇野市図書館事業計画案」の事前質問の回答を事務局よりお願いしたい。

事務局より資料2、資料3、追加資料4により説明。

議長 令和6年度事業計画について何かあればお願いしたい。

委員 リサイクルフェアの本を、幼稚園やこども園から小学校に上がる時に処分する家庭も多いと思うので集められると思う。ボランティアグループや読み聞かせボランティア向け研修は木曜日の午後だが他の曜日にも検討できないか、教育的研修など土日に行ってはどうか。小学校から中学校へ進級の際の今の時期に時間が空くので、子どもへ大人向けの図書館の使い方などの説明機会を設けたらどうか。

事務局 小さい子どもがいる間は絵本も手放さないと思うが、各施設へは事前の声掛けをしている。ボランティア研修会は平日以外の開催は難しいと思うが木曜日以外も検討してみたい。ミライ部の開催時期も検討してみたい。

委員 参加しやすい時間帯の調査など行う事で参加しやすい工夫ができると思う。16時30分の開催はどういう理由か。

事務局 16時30分開催は堀金館のわくわく講座なので堀金館長から説明します。

堀金館長 保育園児や小学校低学年が来られる時間帯の実施としている。

議長 その他の質疑の回答を事務局よりお願いしたい。

事務局より追加資料4により説明。

議長 全体を通して他に何かありますか。

委員 昼の上映会の設定は可能か。人との出会いの場の演出が大事で、特に世代間交流による出会い設定が大事。子ども自身が得た経験などを題材とした事業を仕掛けてみてはどうか。

事務局 仕事終わりの市民を対象に夜の上映としている。複数世代を対象にしたぎりぎりの時間設定としているが、当面30分前倒しで実施している現状を検証していきたい。司書や本を媒介にした人と人との出会いは、図書館の役割として行っていきたい。

委員 子どもの成長を促す読書を子どもに気づかせることや、子どもに意識づけるいい方法を検討するような、皆で相談できる場があってもいいと思う。

事務局 家庭読書の大切さを親に知ってもらい子どもに伝わっていくことが大事だと思う。学校司書との連携は会議等で行っている。

委員 家庭環境は重要だと思う。

委員 個人登録率が34%、図書館計画は50%、計画期間の2027年には目標値に対して現状では低調で厳しい状況。全事業の総合力で登録率は上がっていくと思う。登録率が重要なのでその数値を上げるには情報発信が一番効果があると考えている。エックスなどのSNSもあるが広報あつみのが重要と考えるので、その工夫充実を希望したい。

事務局 情報が届くように広報は充実させていきたい。長野県図書館概要の登録率は死亡者や転出者を削らず集計する市町村もあって数値の積み上げ基準が一律ではないが、安曇野市は実際に利用している登録者に基づいた集計から中間か若干低い順位となっている。今後も50%に近づけて取り組みたい。

委員 ホームページで公開されている図書館概要を、QRコードのように即アクセスできる工夫があると図書館に更に関心を持って貰えると思う。

議長 各館長から一言お願いします。

事務局 中央図書館長、豊科図書館長が所用で欠席。

三郷館長 3月10日で開館6年になった。三郷図書館は小中学校など地域とつながっていて、公民館とも相互連携した取り組みを行っている。来年度も引き続き小中学校や地域と連携

して図書館利用を促進していきたい。

堀金館長 父親と子どもによる親子連れ利用が増えている。放課後デイサービスやフリースクールの団体貸し出しが多い。夕方開催のわくわく講座も人気で募集もすぐに埋まり事業が浸透してきていると考えている。

明科館長 地域の特色が出せる蔵書があることが各5館の存在意義だと思う。調べ学習は学校との連携が大事だと思っている。将来的にも本の良さ図書館の良さをPR等発信することが大切で、お出かけ図書館のように出かけて行く行動も今後は大切だと考えている。

議 長 4その他については、特に無いようなので以上とする。

副議長 以上で、本日予定の協議内容は全て終了したので協議を閉じさせていただく。

以上